

予算・決算特別委員会

当委員会に付託された2議案の審議経過及び結果は次のとおりです。

「平成27年度千代田区一般会計補正予算第2号」は①個人番号の通知及び個人番号カードの交付関連事務に関する経費②認定こども園整備補助に関する経費③国有地の一時借用による子どもの遊び場等の整備に関する経費④代替園庭利用の公園・児童遊園改修に関する経費⑤麹町保育園園舎整備に係わる新たな債務負担の設定をするものです。

質疑の結果、認定こども園の整備は①今回の整備は事業者からの提案によるもので、区では内容を精査し、事業者の経営状況等も含めた協議の下、適切な保育が可能と判断し、提案を受け入れたこと②認定こども園は、児童福祉施設のため、通園区域は区内全域であること③区の財政負担は国や都からの補助金等で軽減されることが明らかになりました。

また、一時利用の九段議員宿舎跡地の代替園庭では①富士見地区の保育園児約450名の利用が見込まれること②代替園庭利用の公園改修は、児童の利用頻度や喫煙問題が深刻なこと等を勘案し、西神田公園と神田児童公園で実施すること等が明らかになりました。質疑を終了し、討論を行い、採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決定しました。



「平成26年度千代田区各会計歳入歳出の決算の認定について」は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、地域保健福祉、子育て文教の3つの分科会を設置し、詳細に調査を行いました。分科会の調査報告を受け、総括質疑、意見発表を終え採決に入ったところ、本決算は賛成多数で認定すべきものと決定しました。

主な質疑項目は、次のとおりです。

- お茶の水小学校・幼稚園施設整備
- 御茶ノ水駅舎のバリアフリー及びユニバーサルデザイン
- 風ぐるま
- 情報化指針
- 民間開放の見直し
- 千代田エコシステム
- 神田・秋葉原地区のまちづくり
- 資源ゴミの持ち去り

〈討論〉

【反対の意見】

区有施設全体で、バリアフリー化やユニバーサルデザインに対し、意識的に推進する体制がないことが明らかになった。また、風ぐるまの見直しやお茶の水小学校建て替え、保養施設等の廃止について、手順・手続きに問題があることが明白であり、執行体制の不備は否めないことから平成26年度決算は認定できない。(小林た)

反対理由の第1は、お茶の水小学校・幼稚園の建て替え問題に見られた行政の秘密主義。秘密主義は行政不信を招く。第2は、都市再生という名目の開発事業が住民の暮らしを脅かしていること。第3は、国保料の値上げ等の区民の負担増。

第4は、自衛隊の依頼により、住所、氏名等子どもの情報を提供していること。よって決算認定に反対する。(木村)

【賛成の意見】

保養施設の見直しについては、議会と区が同じ立場で共通認識を持ちながら進めていくことが約束された。町会補助金については、町会の団体としての考え方は今後も変わらず、適正に執行していくことが確認された。また、審査の過程での議会からの意見については今後、十分留意し、説明できない予算執行を改めることを求め、賛成する。(池田)

審議の中で、①オープンデータの全庁的な推進②道路の空洞化調査の実施③道路交通文化の普及啓発④区を挙げての健康づくりの推進⑤難聴者補聴器購入補助の継続等前向きな答弁があったが、お茶の水小学校に関する質疑では、執行機関との信頼関係が損なわれた。今後は、正しい報告と手順・手続きを厳守することを求め、賛成する。(大串)

審査の過程の中で、コミュニティサイクル事業の拡充や風ぐるまの運行等利用者である区民本位の視点から課題解決に取り組む、今後の施策展開を図ることが約束された。また、国の税財政制度改革により本区の財政基盤が脅かされる懸念もある中で、今後も一層効率的かつ安定的な財政運営を行っていくことが確認でき、決算の認定に賛成する。(内田)

全体として、健全かつ堅実な執行は評価できたが、お茶の水小学校・幼稚園施設整備調査検討に関する審査では、議会との信頼関係を揺るがしかねない進め方が明らかになり残念である。しかし、懸案事項である災害医療連携の推進による医薬品の備蓄や千代田エコシステムの推進による事業拡充への意欲があることが明らかになり、賛成する。(岩佐)

2014年度決算は、まだまだ努力する点は多々あると思うが、おおむね納得いくものである。ただ、今回の定例会で出た意見を今後の糧として、精進していただくことを求め、賛成する。(岩田)

今決算は、「改定千代田区第3次基本計画」の最終年度で、施策を検証する審査である。その中で、お茶の水小学校・幼稚園整備については、一旦立ち止まり全庁的な組織体制を構築し、議会との協議のうえ可及的速やかに進めるとの対応策が示された。なお、職員定数の増員は、議会等の要望を予算編成に反映させることを区長に求め、賛成する。(たかざわ)

平成26年度千代田区各会計歳入歳出決算額

(単位：円)

会計	歳入	歳出	差額
一般会計	79,654,790,883	76,740,139,709	2,914,651,174
国民健康保険事業会計	5,036,645,654	4,591,383,012	445,262,642
介護保険特別会計	4,491,431,463	4,341,246,699	150,184,764
後期高齢者医療特別会計	1,498,857,412	1,381,069,600	117,787,812
合計	90,681,725,412	87,053,839,020	3,627,886,392